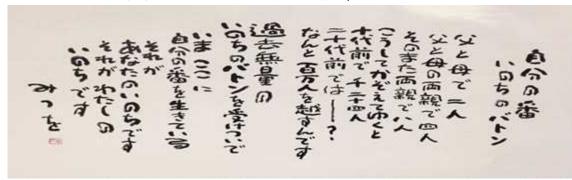




学校だより 【12月5日号】

校長室より⑱ 12月のめあて 生命尊重

今月のめあては生命尊重です。朝礼で詩を紹介し、次のようなことを話しました。



みなさんの命はお父さんとお母さんの二人から受け継いだもの。お父さんとお母さんの命は、それぞれのお父さんとお母さんから受け継いだもの。こうして数えていくとIO代前だとIO24人、20代前だとIO4万8576人。 今、ここに生きている自分 生かされている自分の命はたくさんの人から受け継いだ命。この世に一人しかいない自分。一つしかない命。かけがえのない命をどうか大切にしてください。

また,今週は校内人権週間です。自分の命と同じように人の命を 自分と同じように人を大切にしてください。

学校の様子® 総小フェスティバル&ウクライナからのお客さま

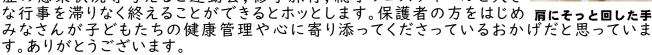


12/I(木)に総小フェスティバルがありました。"レーザースプーン競争""夜の音楽室""気配きり"等どの店も趣向をこらしたものばかりでした。異学年のペアでお店を回りましたが、はぐれることもほとんどなく仲良くまわっていました。6年生は、1年生の手をつないだり肩に手をまわしたり、1年生の気持ちに寄り添いながらまわっていました。子どもたちを見ていると自分たちが主体的に活動することがとても楽しそうに見えました。今後も子どもたちが自ら考え、実行するような創造性のある活動を大切にしていきたいと思い

ます。また、保健委員会が、手洗いを促す放送をいれるなど会全体の運営はそれぞれの委員会が担っていました。企画、準備、運営、片付けと6

自然につないだ手 年生は大変だったと思います。6年生のおかげでたくさんの人が楽しむことができました。たくさんの人が人を楽しませる喜びを知りました。ありがとう。また一つ良い伝統を残すことができました。お疲れさまでした。

今回の総小フェスティバルには、スペシャルゲストとしてウクライナから総社に移住されているチジェンコ・アロナさんをお迎えして子どもたちと一緒に楽しんでもらいました。また、6年生を対象にウクライナの文化、言葉、服装、食べ物、風習等について写真や動画を使ってお話をしてくださいました。異文化を知る良い機会となりました。新型コロナウイルス感染症の感染状況等考えると運動会、修学旅行、総小フェスティバルと大き



- 2 -	
-------	--